令和３年度　児童養護施設静岡ホーム事業報告

「キリストの愛」と児童憲章や児童の権利に関する条約、児童福祉法、倫理綱領等に則り、すべての職員が一体となって「子どもの最善の利益」に適うよう、児童の権利を擁護し、自立に向けた支援計画を策定して、子どもたち一人ひとりが個性豊かでたくましく思いやりのある人間として育ち、自立した社会人として生きていくことができるよう、多様な社会経験を積める機会を提供し、養育・支援を行った。

なお、本年度も、新型コロナウイルス感染症対策により、外出の自粛や多くの人が集まる施設の使用が制限されたため、研修や行事等が中止になるなど大きな影響があった。

また、新型コロナウイルスから子どもや職員を守るため、手洗い、手指消毒、マスクの着用、こまめな換気、身体的距離の確保、３密の回避（密集 密接 密閉）、毎朝の体温測定・健康チェックなど「新しい生活様式」の実践例を徹底し、感染防止に努めた。

１　養育・支援

(1) 入退所児童の状況

何らかの事情により家庭での養育が困難又は受けられなくなった子どもの養育は、児童相談所運営指針及び里親委託ガイドラインにおいて里親委託優先の原則がとられてきた。

また、平成 28 年改正の児童福祉法において「家庭（実父母や親族等を養育者とする環境）」に近い環境での養育を推進するため、「家庭における養育環境と同様の養育環境（養子縁組による家庭、里親家庭、ファミリーホーム）」において、継続的に養育されることが原則である旨が明記され、養子縁組や里親・ファミリーホームへの委託を原則とすることとされた。

こうした中、本年度は、14 人が入所し、12 人が退所、月平均の在籍児童は 58.8 人で、定員（71 人）に対する充足率は 82.9%であった。

〈入退所児童の状況〉　（単位：人）

区分	入所児童					退所児童						
	家庭	乳児院	他施設	里親	計	家庭引き取り	就職	里親委託	児童心理治療施設	児童自立支援施設	20 歳到達	計
人数	10	1	1	2	14	8	2	1	0	0	1	12

〈在籍児童数の推移〉　（単位：各月初日、人、%）

年度		26	27	28	29	30	1	2	3
在籍児童数	延人数	885	790	792	803	770	784	742	706
	月平均	73.8	65.8	66.0	66.9	64.2	65.3	61.8	58.8

(2) 一時保護児童の受入れ

児童相談所における虐待対応件数の増加に伴う保護児童の増加や処遇困難な児童及び保護者の施設入所の同意が得られず、一時保護期間が長期化するケース等により、施設等への一時保護委託が増加し、本施設では児童 18 人を延べ 541 日受け入れた。受託日

数の平均は 30 日で最長は 152 日であった。

なお、一時保護児童には可能な限り登下校の送迎支援を行い、教育を受ける権利の確保に努めた。

⑶ 食生活の向上

選択メニューを増やしたり、新メニューを開拓するなど、飽きの来ない献立作りに努めた。

嗜好調査は、年２回、食に興味を持てるようクイズ形式にするなど工夫を凝らして実施した。

また、園内の畑でジャガイモ、枝豆、ブロッコリー等を育て、その成長過程を子どもと共に見守り、収穫し、食し、食材にも興味が持てるような機会を設けた。

アレルギーのある子どもには、原因食材を排除した食品を選び、さらに調理を別にした料理を提供し、他の疾患に対しては個々の体調に合わせた食事提供を心掛けた。

なお、新型コロナウイルス感染症予防対策として子どもたちの外出が制限されたことにより、自ら買い物に出かけ、おやつを購入する機会が制限されたため、子どもの声に寄せられた希望のおやつを可能な限り提供した。

食生活委員会では感染症予防対策に十分配慮したうえで、各グループでのカレーやシチューを作り、味くらべを行った。

⑷ 衣習慣の習得

衣服は、清潔で身体や季節に合うものを選択するとともに、好みや個性を大切にしながら衣服を通じて適切に自己表現できるよう支援した。

また、購入には職員と一緒に出かけ、年齢や一人ひとりの子どもの状態にあった整理の仕方や TPO を意識した衣習慣が身につくよう支援した。

⑸ 住環境の整美

住環境を整えるため、日々の掃除に努めるとともに、全体清掃の機会を増やすことで職員だけでなく子どもたちにも清掃の大切さを体感する機会を設けた。

また、各グループの家具や壁等の破損個所は、速やかに修繕することで常に心地よい環境を整えた。

⑹ 性に関する教育

安心・安全な施設生活を目指し、自立・共生の力を育むため、生（性）に関する正しい知識や関心が持てるよう、性教育委員会（かえでの会）を中心に「プライベートゾーン、プライベートエリア、回避行動（ノー・ゴー・テル）」を基本とする年齢別の学習会を延べ 15 回実施した。

⑺ 子どもの主体性を育む余暇活動

社会への適応性を高め、豊かな人間性を育てるため、子どもたちの意向を踏まえた園

行事を企画してきたが、昨年度からの新型コロナウイル感染症の影響により、クリスマス祝会や節分豆まきといった季節行事、レストランでの食事会、夏のキャンプ、冬のスキーなどの活動は、一部規模を縮小して実施した。

また、子ども達の外出の機会が減ったことを補うために、子どもと職員が園内で行える行事を一緒に企画し、汗を流す機会を設けた。

各種団体の招待・訪園行事は、感染防止対策を講じて、Ｊリーグエスパルスホームゲームの観戦、映画鑑賞など、スポーツや文化・芸術に触れる機会をもち、子どもたちが楽しみながら感性を磨き情操を育むよう努めた。

また、情緒を安定させ自立を支援するため、ピアノ教室と手芸教室を開講し、発表会を開催するなど、表現活動の場を設けた。　（単位：件）

園企画行事	招待・訪園行事	県養協行事
44	13	1

⑻ 学習・進学支援

基礎学力の向上と学習習慣の定着を図るため、小学生を対象に個々の能力に合った公文式学習に取り組み、目標を設定することで、主体的に学習に向かえる児童が増えてきた。

また、学習ボランティアの活用や中・高校生の通塾により、大学等の高等教育への進学意欲が高まっている。

⑼ 心理的ケアの充実

愛着形成や自己肯定感の向上を図るため、グループ心理療法、児童相談所嘱託医による心理的・医学的知見を現場へと伝えるスーパービジョンを実施した。

また、個別のケアが必要な児童については、静岡市児童相談所におけるプレイセラピーや園内の個別面接で対応し、それ以外の児童は生活場面の要所で心理的知見に基づく関わりやアドバイスを通じて日常的にケアを行った。　（単位：回）

スーパービジョン	グループ心理療法	プレイセラピー	個別面接
11（毎月1回）	16（2グループ）	72（36回×2枠）	73（4ケース合計）

⑽ 自立支援の充実

小中学生を対象としたCCP（キャリア・カウンセリング・プロジェクト）を行い、『こんな大人になりたい・将来こんなことをやってみたい』といった将来に対して肯定的な展望を持てるよう支援した。

また、施設退所後に自立を予定している高校性を対象に自活訓練を実施し、一人暮らしを疑似体験させることで退所後の生活をより具体的にイメージできるよう助言、指導を行った。

施設を退所し自立する児童には、行政手続きや金融機関の口座開設に同行し、自立した児童には、定期的な電話やメール、家庭訪問により生活状況を確認し、生活上の相談・指導を行うことで社会的自立を支えた。

<table>
<tr><th>対象児童</th><th>支援項目</th><th>件数</th><th>支援内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">入所児童</td><td>ソーシャルスキルアップ</td><td>280</td><td>・掃除洗濯等生活支援（通年支援）
・調理体験
・自活訓練支援（高校生３人・１～２週間/人）
・アパートの内覧同行、契約関係書類の作成支援</td></tr>
<tr><td>自立支援教育</td><td>63</td><td>・CCP（キャリア・カウンセリング・プロジェクト）
・職業相談、VRT 職業興味検査
・企業見学（中高生）
・(株)東海道シグマ「新社会人セミナー」</td></tr>
<tr><td rowspan="5">退所児童</td><td>電話・メール</td><td>425</td><td rowspan="5">・近況確認
・家計簿の確認による金銭管理状況の把握
・奨学金、他給付金の書類作成指導や入金手続き
・相談援助（体調不良、人間関係、近隣トラブル、税金、各種行政手続き　など）
・生活支援（通院同行、引越し・部屋掃除手伝い　など）
・就労支援（関係機関との連絡調整、就労継続のための職場訪問、離職手続き　など）</td></tr>
<tr><td>来園面接</td><td>13</td></tr>
<tr><td>訪問面接</td><td>27</td></tr>
<tr><td>職場訪問</td><td>7</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>25</td></tr>
<tr><td colspan="2">計</td><td>840</td><td></td></tr>
</table>

２　家族への支援

児童の早期家庭復帰や親子関係の修復・再構築に向け、家庭訪問や親の仕事の都合・家庭状況に合わせた月２回の定期的な面会・外出・外泊と夏季・冬季における１週間の長期外泊を実施した。

また、親子訓練棟を使用した家族（親子・きょうだい）交流を実施するとともに、我が子に興味、理解を示してもらえるよう親に向けた「子ども通信」を発行した。

交流前は、保護者に施設や学校等での様子（幼児や低学年児は担当職員との交流ノートを活用）を伝え、交流後は、家庭での様子を確認するとともに、面談を希望する保護者から個別に子どもの養育や今後の交流について相談を受けた。

その結果、家庭引き取りとなったケースが７家庭８名、交流を開始したケースが８家庭13 名であった。

なお、家庭状況の悪化等により交流を一時停止したケースは２家庭３名であった。

３　自立支援計画

子どもの権利を保障し適切な養育を行うため、一人ひとりの子どもの心身の発達と健康の状態及びその置かれた環境を的確に把握・評価（アセスメント）し、養育支援と家庭復帰支援からなるケアプランを作成した。

「つながる力」、「挑戦する勇気の力」、「能力」、「かけがえのない自分を認める力」の４項目を高める支援を軸に、医療面、心理面、ファミリーソーシャルワークなど、具体的な支援内容が設定されているため、処遇職員はエビデンスに基づいた養育支援に努め実行し

た。

新型コロナウイルス感染症の影響によりプラン変更を余儀なくされたケースもあったが、子どもが納得したうえで作成されたケアプランは、子ども自身が目標達成に向けて前向きに取り組み、自立支援を支えた。

４　権利擁護

(1) 人権擁護と人権侵害の防止

子どもたちの人権を守り、子どもたちが安心して生活が営めるよう、静岡県児童養護施設協議会主催の権利擁護推進研修会への職員の参加、「懲戒に係る権限の濫用禁止（平成10年2月18日）」及び「被措置児童等虐待対応ガイドライン（児童福祉法第33条の10）」の周知と「児童養護施設における人権擁護のためのチェックリスト」による自己点検、投書箱「こどもの声」の設置などにより、人権擁護と人権侵害の防止に努めた。

(2) 被措置児童等虐待の防止

子どもたちに対する虐待や虐待を疑わせる行為、或いは虐待と受け止められる行為の防止について徹底を図るため、グループ会議の議題に取り上げ、加えて職員会議で再確認する場を設けて職員全体で被措置児童等虐待防止に取り組んだ。

児童の逸脱行動には複数の職員で対応し、虐待を疑われる状況が発生しないよう努めた。

また、投書箱「こどもの声」を設置することで子どもたちからの直接的な訴えができる環境を用意し、安心・安全で透明性の高い養育を心掛けた。

５　事故防止と安全対策

災害時における児童の安全を確保し被害の軽減を図るため、消防設備機器等の取扱いを学ぶとともに、火災・地震を想定した定期的な通報・消火・避難訓練を実施した。

また、事故や災害等を未然に防止するため、建築基準法等に基づいた建築設備定期検査、消防設備点検、電気設備点検、貯水槽点検・清掃などを実施した。

年間を通じて入所児童の重大な受傷、疾病に至る事故等の発生はなかった。

６　地域交流と地域支援

(1) 地域との交流

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、毎年実施されている町内会行事が中止となり、子どもたちの参加、交流はなかった。

(2) ショートステイの受入れ等の地域支援

保護者の疾病等の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童を入所させ保護を行った。

本年度のショートステイの受入れは２人、延べ 12 日であった。

また、近隣大学への講師の派遣や関係機関・団体の施設見学について、可能な限り対

応した。

７　職員の専門性の向上

被虐待児の入所が半数を超え、支援困難なケースや発達障害の表れを有する児童が増加しており、養育を担う職員のより高い専門性が要求されている。

また、地域小規模児童養護施設等のグループホームや今後整備される本体施設の小規模ユニットにおいては、職員一人ひとりの力量が問われ、知識・技術・経験に裏打ちされた養育が必要とされるので、職員のスキルアップを図り、専門性を高めるため、CARE プログラムやコモンセンス・ペアレンティング習得などの職場内研修を実施するとともに、全社協等関係団体主催のオンライン等による専門研修に参加した。

さらに、本年度は社会保険労務士を講師として招き、労務管理研修を園内で実施し、働き方改革の推進に努めた。

８　施設の運営

(1) 会議・委員会等の開催

子ども一人ひとりの養育の向上と円滑な施設運営を図るため、施設内における各種会議や委員会を開催するとともに、関係機関との連絡会を開催した。

〇施設内の各種会議

名称	開催回数	内容
運営会議	12	施設の運営方針等重要事項、課題等の検討
職員会議	12	施設運営に関わる事項（運営・指導方針、行事予定、提案事項等）の調整、周知
グループ会議	11	児童の生活支援等グループ運営事項（運営計画・自立支援計画・児童処遇・行事等）の調整
ケース検討会議	10	支援及びケアプラン内容の評価及び協議・検討
ケース会議	随時	ケースの支援・進路方針等の協議調整
朝会	毎日(日-祝除く)	日々の連絡調整
サービス向上推進会議	8	第三者評価結果に対する改善事項の協議調整
小規模ケア推進会議	7	小規模ケア施設設置・運営体制の整備
食生活委員会	11	食を通じた健康・衛生・嗜好を知る機会の提供
性教育委員会	11	性教育の実践
広報委員会	10	広報誌の発行、ＨＰの更新等の調整
防災対策委員会（防災会議）	12	消防計画の委員会審議事項の協議調整、防災訓練の実施
苦情解決委員会	1	第三者委員との定期協議
養保連絡会	6	児童養護施設と保育所との連携業務の調整

〇関係機関との連携

児童相談所、幼稚園、小中高等学校、里親家庭支援センター　など

⑵ 人事・労務・健康管理

ア　職員の確保

措置費加算対象の基幹的職員、心理療法担当職員、里親支援専門相談員、家庭支援専門相談員、職業指導員、看護師、学習指導員、特別指導員を配置するとともに、静岡市補助金により心理療法担当職員を配置して、養育・支援体制を確保した。

また、保育士及び児童指導員については、ホームページへの求人の掲載、大学等への求人票の提出、インターンシップの受入れ、求人サイトの活用により令和４年度に向けて２人（応募７人）の新卒者を採用した。

なお、キャリア（経験者）採用の求人に対して３人の応募があり、１人を採用した。

イ　職員の健康の維持

定期的な健康診断の実施やインフルエンザの予防接種、リフレッシュ休暇（年２回の４連休）の取得促進などにより、職員の心身の健康の維持・増進を図るとともに、勤務シフトや業務内容を見直し、長時間労働の是正に努め、より働きやすい環境づくりを行った。

⑶ 施設・設備の保全

安全で快適な生活環境と施設機能の維持・耐久性の確保を図るため、老朽化した施設・設備の補修、故障・破損した備品の買い替え等を行った。

〇施設・設備（建物以外の基本財産、固定資産に当たるもの及び30万円以上の修繕等）

公用車更新（トヨタ　ルーミー）　井戸改修工事　ビオトープ改修工事

照明交換工事（本館及び楓ホール）

〇器具及び備品（10万円以上のもの）

シュレッダー　食器洗い乾燥機　バスケットゴール

⑷ 施設運営の質の向上（第三者評価）

昨年度、新型コロナウィルスの感染拡大により延期された第三者評価を10月に受審。

前回（平成29年度）受審時の結果に基づき、児童養護施設運営指針に掲げられている目指すべき状態に近づけられるよう、サービス向上推進会議において問題点の改善に努めた結果、多くの項目で高い評価を得られた。

⑸ 福祉専門職養成校実習生の受入れ

県内外の大学、短期大学、専門学校の福祉専門職養成校に在籍する学生の施設実習を受け入れ、福祉分野への就労を志す者の養成に寄与した。

また、児童福祉施設業務を体験し、知識を深めたいとする学生についても、児童のプライバシーの保護と安全に十分配慮しながら、事情の許す範囲でインターンとして受け入れた。

〈インターンシップ〉　（単位：人、日、校）

参加者数	参加延日数	参加者の在籍校等
7	12	常葉大学、静岡福祉大学、常葉大学短期大学部、静岡県立大学、静岡県立大学短期大学部、龍谷大学、浜松学院大学、社会人

〈実習〉　（単位：校、人、日）

区分	保育実習Ⅰ	保育実習Ⅲ	ソーシャルワーク実習	計
実習校	13	2	2	17
実習生	27	3	4	34
実習延日数	264	28	56	348

9　広報活動の推進

開かれた施設運営を目指し、ホームページや広報誌により施設の取り組みや子どもたちの生活の様子を発信した。

10 里親支援

里親家庭への訪問及び電話・メール相談、児童相談所を含む里親支援機関との連携、里親認定前研修の講義・実習を行うとともに、相談員会議において子どもたちのニーズについて共有することで支援に繋げた。

また、子どもから里親利用について積極的な発信があり、FSW やユニット担当職員、関係機関と共同しながら子どもの最善の利益が実現されるように努めた。

＜相談支援＞　（単位：件）

訪問	来園・面接	電話・メール	計
3	3	2	8

＜里親認定前・更新研修＞　（単位：人）

認定前研修		更新研修
講義	実習	
3	4	0

＜ショートルフラン里親利用状況＞　（単位：人、日）

利用実児童数	延べ利用児童数	延べ利用日数
21 （うち定期的利用 12）	103	291

１１ 施設の小規模化と地域分散化の推進

施設の小規模化、地域分散化による「できる限り良好な家庭的環境」を整備し、質の高い個別的ケアを推進するため、令和２年度に取得した用地に地域小規模児童養護施設を建築した。（令和４年４月１日開所）

名　称	所　在　地	床面積(㎡)	定　員	構　　造
ひかり	静岡市葵区神明町９－２	157.76	６名	木造合金メッキ鋼板ぶき２階建
めぐみ	静岡市葵区籠上７－７	158.98	６名	木造合金メッキ鋼板ぶき２階建

≪附属明細書≫

1　入退所状況

(1)　入退所状況

（単位：人）

区分	令和２年度末	入　所							退　所						令和３年度末
		家庭	乳児院	児童養護施設	児童自立支援施設	里親	その他	計	家庭	里親委託	就職自立	進学自立	20 歳到達	計	
男	24	6	0	0	0	0	0	6	4	0	1	0	1	6	24
女	33	4	1	0	1	2	0	8	4	1	1	0	0	6	35
計	57	10	1	0	1	2	0	14	8	1	2	0	1	12	59

(2)　月別在籍児童数

（単位：人、％）

区分	定員	初日在籍児童数								充足率
		施設別		学齢別					計	
		本園	のぞみ	幼児	小学生	中学生	高校生	その他		
3年4月	71	52	5	7	22	13	13	2	57	80.3
5月	71	51	5	7	21	13	13	2	56	78.9
6月	71	50	5	7	21	13	12	2	55	77.5
7月	71	51	5	7	22	13	12	2	56	78.9
8月	71	51	5	7	22	13	12	2	56	78.9
9月	71	52	5	7	22	15	11	2	57	80.3
10月	71	54	5	8	23	15	11	2	59	83.1
11月	71	56	6	10	24	15	11	2	62	87.3
12月	71	56	6	11	23	15	11	2	62	87.3
4年1月	71	55	6	10	23	15	11	2	61	85.9
2月	71	55	6	10	23	15	11	2	61	85.9
3月	71	58	6	11	26	15	11	1	64	90.1
計	852	641	65	102	272	170	139	23	706	82.9

(3)　一時保護児童数

（単位：人）

区分	3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年1月	2月	3月	計
児童数	3	3	3	5	8	3	2	0	0	1	3	0	31
延人数	55	47	90	101	84	82	26	0	0	15	41	0	541

＊実人員は 18 人

２　入所児童の状況

(1)　年齢・男女別児童数

（令４年３月１日在籍児童：人）

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	総数	平均年齢
男	0	0	1	0	1	1	2	3	2	1	2	2	2	1	4	0	1	2	25	11.8
女	0	0	1	1	2	4	4	1	1	3	2	3	1	5	3	4	3	1	39	11.7
計	0	0	2	1	3	5	6	4	3	4	4	5	3	6	7	4	4	3	64	11.7

(2)　措置時の年齢

（令和４年３月１日在籍児童：人）

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	総数	平均年齢
男	0	5	2	1	3	2	1	3	0	1	2	1	1	2	1	0	0	0	25	7.5
女	0	12	4	4	4	3	3	1	3	1	2	0	0	2	0	0	0	0	39	5.8
計	0	17	6	5	7	5	4	4	3	2	4	1	1	4	1	0	0	0	64	6.5

(3)　在籍児童の在所期間

（令和４年３月１日在籍児童：人）

区　分	児童数	区　分	児童数	区　分	児童数
１年未満	14	７年以上　８年未満	5	14 年以上 15 年未満	2
１年以上 ２年未満	4	８年以上　９年未満	3	15 年以上 16 年未満	1
２年以上 ３年未満	7	９年以上 10 年未満	2	16 年以上 17 年未満	0
３年以上 ４年未満	4	10 年以上 11 年未満	2	17 年以上 18 年未満	0
４年以上 ５年未満	5	11 年以上 12 年未満	3	18 年以上	0
５年以上 ６年未満	7	12 年以上 13 年未満	0	計	64
６年以上 ７年未満	3	13 年以上 14 年未満	2	平均在所期間	５年２月

(4)　出身地別児童数

（令和４年３月１日在籍児童：人）

措置機関	静岡市	静岡県							浜松市	計
市町		沼津市	島田市	富士市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町		
人数	43	0	1	3	4	4	4	4	1	64
		20								

(5)　措置理由別児童数

（令和４年３月１日在籍児童：人、％）

入所理由（主訴）	人数	割合	入所理由（主訴）	人数	割合
父母の死亡	0	－	父母の放任怠惰	14	21.9
父母の行方不明	0	－	父母の虐待	24	37.5
父母の離婚	0	－	父母の養育拒否	5	7.8
父母の不和	1	1.6	棄児	0	－
父母の拘禁	1	1.6	破産等経済的理由	2	3.1
父母の入院	3	4.7	児童の監護困難	2	3.1
父母の就労	2	3.1	その他	2	3.1
父母の精神障害	8	12.5	計	64	

(6)　被虐待児童数

（令和４年3月１日在籍児童：人、％）

虐待の種類	人数	割合
身体的虐待	22	45.8
性的虐待	0	－
ネグレクト	22	45.8
心理的虐待	4	8.3
実人員	48	

(7)　入所経路

（令和４年３月１日在籍児童：人、％）

家庭	乳児院	児童養護施設	児童心理治療施設	児童自立支援施設	里親	その他	計
46	13	0	2	1	2	0	64
71.9	20.3	－	3.1	1.6	3.1	－	

(8)　保護者の状況

（令和４年３月１日在籍児童：人、％）

実父母あり	実父のみ	実母のみ	実父と養(継)母	養(継)父と実母	祖父母	伯(叔)父母	その他	不明	計
23	6	25	4	4	2	0	0	0	64
35.9	9.4	39.1	6.3	6.3	3.1	－	－	－	

(9)　児童の心身の状況

（令和４年３月１日在籍児童：人）

健全	36	心的外傷後ストレス障害（ＰＴＳＤ）	0
身体虚弱	0	反応性愛着障害	7
肢体不自由	1	注意欠如多動症（ＡＤＨＤ）	6
視聴覚障害	0	限局性学習症（ＬＤ）	1
言語障害	1	自閉スペクトラム症（ＡＳＤ）	8
知的障害(IQ69 以下)	8	適応障害	1
てんかん	0	その他	3

＊医師の診断によるもの　重複あり

(10) 児童の罹患傾向

（令和４年３月1日在籍児童：人）

ほとんど病気しない	27	ぜんそく	5
ひきつけをすることがある	0	食物アレルギー	2
下痢をしやすい	4	その他のアレルギー	7
よく熱を出す	2	花粉症	19
風邪をひきやすい	1	その他	12
湿疹が出やすい	3		

＊重複あり

(11) 退所児童の在所期間

（令和３年度退所児童：人）

区　分	児童数	区　分	児童数	区　分	児童数
１年未満	1	７年以上　８年未満	0	14 年以上 15 年未満	0
１年以上 ２年未満	3	８年以上　９年未満	0	15 年以上 16 年未満	1
２年以上 ３年未満	2	９年以上 10 年未満	0	16 年以上 17 年未満	0
３年以上 ４年未満	3	10 年以上 11 年未満	1	17 年以上 18 年未満	0
４年以上 ５年未満	1	11 年以上 12 年未満	0	18 年以上	0
５年以上 ６年未満	0	12 年以上 13 年未満	0	計	12
６年以上 ７年未満	0	13 年以上 14 年未満	0	平均在所期間	3年11月

(12) 中高生の進路

（令和4年３月末：人）

区分	進学	進学・就職自立	進学・その他 （家庭引取り）	計
中学生	公立高等学校（３名） 私立高等学校（２名） 県立特別支援学校高等部 通信制高等学校	－	－	7
高校生	－	塗装業 運輸関連事業	－	2

３　性教育の実施内容

対象児童	内容	実施回数
幼児	いいタッチ・わるいタッチ（プライベートゾーン） プライベートエリア　回避行動	1
小学１～３年生	いいタッチ・わるいタッチ（プライベートゾーン） プライベートエリア　回避行動	3
小学４～６年生	プライベートゾーン　プライベートエリア　回避行動 洗体、洗髪の方法　二次性徴（月経教育含む）	3
中学生	身体の仕組み　二次性徴　思春期の変化	4
高校生	性欲のコントロール・性交　妊娠・避妊・中絶　性的同意	4

４　行事の実施状況

(1)　園企画行事

（単位：人）

月日	行事名	グループ名	参加児童数
4/3	園内行事「綿菓子作り」	全グループ	60
4/29～5/5	在園児外出「映画鑑賞シネシティザート」	全グループ	32
5/1	在園児外出「あさはた緑地」	２女	3
5/2	在園児外出「清水マリーナサーカス」	幼児	6
5/2	在園児外出「浜名湖パルパル」	のぞみ　３女	10
5/3	園内行事「春祭り」	全グループ	43
5/4	在園児外出「宇津ノ野谷峠」	２男	5
5/4	在園児外出「東海大学海洋科学博物館」	２女	2
5/4	在園児外出「魚魚の里」	３男	6
6/20	園内行事「調理体験」	全グループ	50
7/27	グループ行事「まかいの牧場」	幼児	8
7/30	グループ行事「ふれあい健康増進館　ゆらら」	2女	5
8/1	グループ行事「八木キャンプ場」	3男	10
8/3	グループ行事「日本平山頂」	幼児	8
8/5	グループ行事「川遊び、園内キャンプ」	3女	8
8/8	グループ行事「藁科川上流川遊び」	２男	4
8/9	在園児外出「食事会（テイクアウト）」	のぞみ	38
8/10	在園児外出「食事会(テイクアウト))」	３男	10
8/11	在園児外出「食事会(テイクアウト))」	2男	5
10/9	グループ行事「映画鑑賞シネシティザード」	２男	5
10/16～17	園内行事「綿菓子作り」	全グループ	55
10/17	グループ行事「映画鑑賞シネシティザード」	のぞみ	5
10/23	グループ行事「映画鑑賞シネシティザード」	幼児	11
10/31	グループ行事「ハロウィーン」	２男	7

11/7	グループ行事「浜名湖パルパル」	２男	3
11/21	園内行事「バスケットボール」	全グループ	12
12/4	グループ行事「デイキャンプ、奇石博物館」	2男	4
12/12	グループ行事「清水ドリプラ(スケート)」	2男	7
12/18	グループ行事「清水ドリプラ（イルミネーション）」	のぞみ	6
12/25	園内行事「クリスマス祝会」	全グループ	60
12/27～1/3	在園児外出「映画鑑賞シネシティザード」	全グループ	26
12/29	在園児外出「食事会さわやかインター店」	２男	5
12/30	在園児外出「お風呂カフェ　美肌湯」	２女	1
12/31	在園児外出「島田市中央公園」	幼児	5
1/1～3	在園児外出「浅間神社初詣」	全グループ	40
1/2	在園児外出「てんとう虫パーク」	のぞみ	5
1/15	グループ行事「イエティスキー場」	３男	4
1/15	グループ行事「園内食事会」	３男	3
1/16	園内行事「サッカー大会」	全グループ	33
2/3	園内行事「節分豆まき」	幼児	11
3/14,16	グループ行事「森下公園」	幼児	10
3/22	園内行事「卒園の会」	全グループ	60
3/25	グループ行事「卒業・進級祝い食事会」	のぞみ	6
3/30	グループ行事「城北公園」	２女	8

⑵　招待・訪園行事

（単位：人）

月日	行事名	グループ名	参加児童数
5/15	(株)アイテック　Ｊリーグ観戦招待	のぞみ・3男女	14
8/28	静岡巽ライオンズクラブ　メダカ放流、花火寄附	全グループ	57
10/20	ふるさと・西尾商店　夕食提供	全グループ	60
10/30	静岡ライオンズクラブ　植樹招待	２男	5
10/30	静岡市里親家庭支援センターぶどう狩り招待	幼児	9
11/7	食肉組合内人会　夕食提供	全グループ	62
11/21	TOKAI グループ　キッチンカー　ランチ提供	全グループ	62
11/23	鈴木裕子　二胡演奏会	のぞみ・幼児・2男女	30
11/27	静岡ライオンズクラブ　サイクルフェス 2021 招待	２女	4
12/20	競輪選手(小林・櫻井・水野）ランドセル寄付	幼児	5
12/24	常葉学園高校　クリスマス訪園	幼児	11
12/25	村松大輔(元エスパルス選手)　中井　サッカー教室	全グループ	32
1/15	ワンダーラビットクラブ　クラフトワークショップ	のぞみ・幼児・２男女	27

⑶　県養協行事

月日	行事名	結果
4/20	第 39 回静岡県児童文化奨励絵画展（審査会） ＊表彰式：中止	金賞２名、銅賞３名、 特別奨励賞１名、佳作３名

５　ボランティアの活動

（単位：人）

活動内容	協力者	人数	延人数
余暇支援	大学生（常葉大学、静岡大学）	２	２
	一般	４	１５
学習指導	大学生（常葉大学、静岡英和学院大学短期大学部）	３	１３
	常葉大学ボランティアサークル「つくしんぼ」	１９	１６８
環境整備	大学院生（静岡大学）	１	９
	一般	２	75
散髪	理美容奉仕グループ	２	１７
	1/10’　プロジェクト	２	７
		３５	３０６

６　心理対応

(1)　スーパービジョン

(単位：人)

年月日	対象児童	テーマ・内容	精神科医	参加職員数
4/23	5	昨年度のケースの振り返り	三田 Dr	１５
5/19	5	昨年度のケースの振り返り	奥村 Dr	１８
6/18	小１女児	本児の発達的特徴、今後の支援方針	三田 Dr	１８
7/14	中３男児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針	奥村 Dr	２０
9/15	中２女児	特徴の医学的捉え、今後の支援方針	奥村 Dr	２０
9/24	小３男児	本児の発達的特徴、今後の支援方針	三田 Dr	２０
10/22	年長女児	本児の行動の特徴、具体的支援方策	三田 Dr	１６
11/17	高２女児	特徴の医学的捉え、ケースワーク	奥村 Dr	１８
12/10	小１女児	本児の発達的特徴、具体的支援方策	三田 Dr	１７
1/19	－	コロナ陽性者発生のため、中止	－	－
2/25	小２男児	本児の発達的特徴、今後の支援方針	三田 Dr	１４
3/2	中３男児	特徴の医学的捉え、具体的支援方策	奥村 Dr	１８

＊子どもや家族への支援向上を目指す現場重視の事例検討

(2)　グループ心理療法

対象児童	実施時期	実施回数	目的・内容
４人 （年長）	6～7 月 9～2 月	１回/月	大人と１対１で関われる時間を持ち、愛着形成や自己肯定感の向上を図る。安心感の下で適切に人と関わりを持てるようにする。
６人 （小 1～2年）	6～7 月 9～2 月	１回/月	勝敗のある遊びや全員で一つのことに取り組む活動を通して、集団で最後まで楽しく遊ぶためのスキルや感情のコントロールを学ぶ。

(3)　プレイセラピー

対象児童	実施回数	実施時間	目的・内容
３人	２回/月	１時間/人	遊びを通して関わることで、子どもの不全感や怒り、劣等感、寂しさ等の感情を緩和・軽減させる。 毎回 １ 時間、施設心理士との勉強会の時間を設け、その中でケースについても話をし、児相（児童心理司）を含む３者で密な連携を図る。

(4)　その他心理療法等 (単位：回)

個別面接	生活場面面接
７３	４４８

７　児童の健康管理

(1)　月別受診状況

（単位：人）

年月	外科 整形外科	内科 小児科	眼科	歯科	皮膚科	耳鼻科	神経科 その他	計
３年4月	0	22	3	6	5	8	12	56
5月	8	16	2	1	1	9	9	46
6月	4	17	6	4	6	7	3	47
7月	5	25	3	14	0	5	9	61
8月	4	32	6	18	0	4	5	69
9月	5	17	4	6	0	6	11	49
10月	1	19	0	9	1	5	8	43
11月	4	29	0	4	2	9	15	63
12月	9	19	2	9	1	10	11	61
４年1月	3	27	0	1	3	10	6	50
2月	3	17	0	7	3	11	9	50
3月	9	35	1	3	5	10	8	71
計	55	275	27	82	27	94	106	666

(2)　健康診断・予防接種

（単位：人）

区分		月日	対象児童	人数	備考
健康診断		8/13	幼児～高校３年生	53	
		3/25	幼児～高校３年生	55	
予防接種	MR（麻疹・風疹）	5/24	幼稚園児	4	２期
		12/16	幼稚園児	1	２期
	日本脳炎	5/24	幼稚園児	1	１期１回目
		5/24	幼稚園児	1	１期追加
		6/21	幼稚園児	1	１期２回目
		8/2	小学生	3	２期
		11/4	小学生	1	２期
		11/24	幼稚園児	1	１期１回目
		12/16	幼稚園児	1	１期２回目
		12/16	幼稚園児	1	１期追加
	二種混合（ジフテリア・破傷風）	8/2	小学生	4	２期
	四種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ）	11/24	幼稚園児	1	２回目
		12/16	幼稚園児	1	３回目

区分		月日	対象児童	人数	備考
	インフルエンザ	11/22	幼稚園児	1	
		11/26	小学生	1	
		11/27	高校生	1	
		11/27	中学生	2	
		11/29	中学生	2	
		12/16	幼稚園児	1	
		12/27	中学生	2	
	新型コロナウィルスワクチン	R3.9/1、9/29	高校生	1	モデルナ
		9/8、10/6	高校生	1	モデルナ
		9/22、10/20	高校生	1	モデルナ
		9/29、10/20	高校生	3	ファイザー
		9/29、10/20	中学生	1	ファイザー
		9/30、10/21	高校生	4	ファイザー
		9/30、10/21	中学生	8	ファイザー
		10/10、10/31	高校生	1	ファイザー
		10/10、10/31	中学生	3	ファイザー
		12/12、12/26	中学生	2	ファイザー
		R4.1/7、1/28	小学生	1	ファイザー
		2/10、3/10	小学生	1	モデルナ

8　家族（保護者）支援等の状況

(1)　家族（保護者）との交流状況

（令和４年３月１日在籍児童：人）

交流あり				交流なし	計
帰宅	外出	面会	電話・手紙		
19	8	20	2	14	63

(2)　家族（保護者）との交流頻度

（単位：人）

区分	月１回以上	年２回～11 回	年１回位	計
帰宅	11	6	2	19
外出	1	4	3	8
面会	3	9	8	20
電話・手紙	0	2	0	2

(3)　一時帰省状況

（単位：人）

区分	期間	児童数	備考
夏季	8/8～15	32	夏季・冬季ともに個別のケース対応により期間長短あり
冬季	12/27～1/3	34	

(4)　ショート・ルフラン里親

（単位：人、日）

区分	2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年1月	2月	3月
児童数	4	4	7	7	15	0	13	12	21	18	1	1
延日数	13	21	23	24	42	0	37	40	47	32	7	5

9　子どもの意向・苦情（こどもの声への投書）

（単位：件）

要望	改善提案	苦情	感謝	その他	計
3	0	0	0	0	3

10　防災・安全対策実施状況

(1)教育

（単位：人）

月日	教育内容	参加児童数	参加職員数
5/12	消防設備（非常用放送設備・自動火災報知設備）取扱説明	0	16
7/17	「避難情報」と「防災気象情報」について説明 防災 DVD 視聴「大雨のとき気をつけること　早めに避難するヒント」	39	9
12/19	県防災センター見学「B コース 90 分防災シアター＋風水害」	21	7

(2)　防火・防災訓練

（単位：人）

月日	訓練名称	想定災害	実施時間帯	訓練内容						
				通報	初期消火	消火訓練	避難	その他	参加人員	
									児童	職員
4/10	避難訓練	火災	日中		○	○	○		37	12
5/15	避難訓練	地震・火災	日中		○	○	○		36	11
6/20	避難訓練	火災	日中	○	○	○	○	自衛消防訓練通知	32	11
7/17	避難訓練	土砂災害	日中				○	防災 DVD 視聴 情報伝達訓練（職員）	39	9
8/15	避難訓練	地震	日中				○		32	11
9/5	避難訓練	地震	日中				○	南海トラフ地震に関する情報	44	14
9/11	市総合防災訓練	地震	日中					市子ども家庭課、児相との伝達訓練	46	9
10/9	避難訓練	火災	日中		○	○	○		25	13
11/8	社会福祉施設防災の日訓練	地震・火災	日中	○	○	○	○	消防署立会 応急処置講習 保育学園と合同訓練	2	7
1/8	避難訓練	火災	夜間		○			夜間想定訓練	45	12
2/13	避難訓練	地震・火災	日中		○	○	○		38	9
3/5	避難訓練	火災	日中		○	○	○		45	8

⑶　点検・検査

項目	月日
消防用設備点検	5/12　　11/1
空調設備点検	6/8　　11/18
貯水槽点検・清掃	7/12
建築設備定期検査（建築設備・防火設備）	11/18
簡易専用水道検査	11/30
電気設備点検	3/9

11　関係機関等との連携

(1)　児童相談所との連携

連絡会			その他
月日	児童相談所	内容	
5/13　5/25 11/5　11/11	静岡市児童相談所	措置児童の情報交換 進路、家庭引き取り、里親委託、措置変更など	個別ケースの連絡・面接・ケース検討会等の実施
6/28 10/15	静岡県(中央･富士)児童相談所		

⑵　幼稚園・学校との連携

幼稚園･学校名	月日	内容
かえで幼稚園	随時	新入園児のホームでの生活の様子等
安西小学校	4/2 毎月１回	新任職員来園・概要説明 児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
井宮小学校	随時	ケース検討会及び児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
葵小学校	随時	ケース検討会及び児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
末広中学校	4/6 随時	新任職員来園・概要説明 児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
籠上中学校	随時	ケース検討会及び児童の学校での様子やホームでの生活等の情報交換
各高等学校	随時	学期ごとの面接、進路面接など

12　地域交流と地域支援

(1)　地域交流

（単位:人）

月　日	内　　容	参加児童数	参加職員数
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			

(2) 地域支援

ア ショートステイ受入れ

（単位：人）

区分	3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年1月	2月	3月	計
児童数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
延人数	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	9	0	12

＊実人員は２人

イ レスパイト受入れ

（単位：人）

区分	2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年1月	2月	3月	計
児童数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

＊実人員は0人

ウ 施設開放

月日	団体	内容	場所
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用なし			

13 職員研修実施状況

(1) 職場内研修

ア 全職員

月日	研修内容	講師
7/9	県立こども病院巡回相談	静岡県立こども病院石垣医師

イ 新任職員

月日	研修内容	講師
10/21	性教育新任職員研修	静岡市児童相談所保健師
5/14	公文学習新任職員研修	静岡ホーム職員
5/27	直接処遇新任職員スキルアップ研修Ⅰ	静岡県立大学短期大学部社会福祉学科松平准教授
7/16	直接処遇新任職員スキルアップ研修Ⅱ	
9/22	直接処遇新任職員スキルアップ研修Ⅲ	
6/16	CARE プログラム研修Ⅰ	静岡ホーム職員
6/23	CARE プログラム研修Ⅱ	
7/7	CARE プログラム研修Ⅲ	
2/10	コモンセンス・ペアレンティング研修Ⅰ	静岡ホーム職員
2/24	コモンセンス・ペアレンティング研修Ⅱ	
2/16	小規模ケア研修	静岡ホーム職員
3/1	新任（入職前）研修１	静岡ホーム職員
3/3	新任（入職前）研修２	
3/9	新任（入職前）研修３	静岡県立大学短期大学部社会福祉学科松平准教授

月日	研修内容	講師
3/14	新任（入職前）研修４	静岡ホーム職員
3/16	新任（入職前）研修５	
3/23	新任（入職前）研修６	静岡県立大学短期大学部社会福祉学科松平准教授
3/24	新任（入職前）研修７	静岡ホーム職員
3/29	新任（入職前）研修８	

ウ　主任・副主任・グループリーダー

月日	研修内容	講師
6/25	リーダー研修Ⅰ	静岡県立大学短期大学部社会福祉学科松平准教授
9/22	リーダー研修Ⅱ	
10/26	リーダー研修Ⅲ	
12/8	リーダー研修Ⅳ	
12/3	労務管理研修	社会保険労務士　小山圭子氏

エ　その他

月日	研修内容	実施職員
2/1～2/24	地域小規模児童養護施設のぞみ１日体験研修	５

⑵　職場外研修

ア　全社協・県社協等研修　（単位：人）

月日	研修会名	会場	参加職員数
7/16	日本公文教育研究会オンライン研修会	オンライン	2
7/26　12/23・24	県社協キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース	静岡市	3
11/8	安全運転管理者講習	静岡市	1
11/20	児童福祉におけるスキルアップ研修	オンライン	2
1/18	日本基督教児童福祉連盟中堅職員研修会	オンライン	1
2/7	決算事務講座	オンライン	1
2/22	労務管理講習会	静岡市	1
3/3	県社協施設法人協議会合同研修会	オンライン	1

イ　全養協・県養協研修　（単位：人）

月日	研修内容	会場	参加職員数
7/31	県養協新任職員研修会	静岡市	5
7/13	県養協指保部会研修１	オンライン	2
10/12	県養協指保部会研修２	オンライン	2
12/14	県養協指保部会研修３	オンライン	1
10/21	県養協事務職員部会研修	静岡市	2

月日	研修内容	会場	参加職員数
10/27	全国児童養護施設長研究協議会	オンライン	1
12/8	関東ブロック児童養護施設職員研修会	オンライン	2
1/18	児童福祉施設暴力防止研修会	オンライン	2
1/21	児童権利擁護推進研修会	オンライン	2
2/14	関東ブロック事務運営管理者研修会	オンライン	3

14　実習生の受入れ

（単位：日、人）

区分	期間	日数	人数	実習校
保育実習Ⅰ	4/26～5/6	20	2	静岡産業技術専門学校
	5/10～5/20	20	2	東海こども専門学校
	5/10～5/20	10	1	聖隷クリストファー大学
	6/14～6/24	20	2	常葉大学 浜松キャンパス
	6/28～7/8	20	2	常葉大学 浜松キャンパス
	7/26～8/6	10	1	東京明星大学
	8/2～8/12	20	2	静岡産業大学
	8/5～8/18	12	1	浜松学院大学
	8/16～8/29	12	1	静岡県立大学短期大学部
	8/16～8/19 10/25～11/2	8	1	常葉大学 草薙キャンパス
	8/23～9/2	10	1	鎌倉女子短期大学
	8/30～9/9	20	2	静岡福祉大学
	9/13～9/21	16	2	常葉大学短期大学部
	9/27～10/7	10	1	静岡福祉医療専門学校
	10/11～10/19	16	2	常葉大学短期大学部
	10/25～11/2	8	1	常葉大学 草薙キャンパス
	11/8～11/16	8	1	常葉大学短期大学部
	2/17～3/1	12	1	英和学院大学
	3/3～3/15	12	1	英和学院大学
保育実習Ⅲ	5/21～5/31	20	2	常葉大学
	11/8～11/16	8	1	常葉大学短期大学部
ソーシャルワーク実習	8/17～9/9	18	1	静岡県立大学短期大学部
	8/16～9/19	23	1	静岡英和学院大学
	10/1～10	9	1	静岡英和学院大学
	3/7～12	6	1	静岡県立大学短期大学部
計（延日数・実人員）		348	34	

15　インターンシップの受入れ

（単位：人、日、校）

参加者数	参加延日数	学校数	参加者の在籍校
7	12	7	常葉大学、静岡福祉大学、常葉大学短期大学部、静岡県立大学、静岡県立大学短期大学部、龍谷大学、浜松学院大学

16　里親支援の状況

＜里親会及び里親支援機関との連携＞

月日	内容	参加児童数	参加職員数
4/20　5/18　6/22 7/20　9/21　10/19 11/16　1/18　2/22 3/22	里親相談員会議	-	1
10/31	1 日里親体験事業	8	2

17　視察研修の受入れ

（単位：人）

月日	団体名	人数
11/22	御前崎地区更生保護女性会	19